

知事らと白熱した議論展開

大学生ら8人参加で学生議会

若い人たちが本会議場の壇上に立ち、知事や教育長らに本番さながらに県政についての一般質問をする学生議会が10月15日開かれ、鳥取の大学生らが若者の雇用や地域開発などについて、活発な議論を展開した。表紙の写真。

議会改革推進会議の議論の中で、開かれた議会を目指す改革の一つとして、若い人たちの県政への関心を高めてもらおうと昨年から開催。今年は鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校男子学生4人、女子学生4人の計8人が知事らに論争を挑んだ。

学生1人に1人ずつ世話をする担当議員を配置。学生たちは今年7月以降、県議会での質問の要領などの説明を受け、何を質問するかなどを相談。面接やメールでのやり取りを重ね、質問原稿を作成してきた。当日は午後1時に学生たちは登庁。各議

員控室で担当議員と最後の打ち合わせをし、平井知事や担当議員と共に本会議場で記念写真を撮影した後、午後2時から本会議に臨んだ。

鳥取大学大学院生の原口明さんは鳥取自動車道が今年3月全線開通したことを受けて、「鳥取県の活性化には鳥取自動車道の利用促進が重要と考えるが、その取り組みや如何に」と質問。鳥取短期大学専攻科の山上聖子さんは「友人の多くが県内での就職を望んだが、状況は厳しい。自然エネルギーの開発など新産業創造で雇用環境を好転させるべきだ」と提言した。

質問や提言の多くは、身近な生活の中の疑問や思いを丁寧な調査や研究で質問に練り上げたものだけに、知事や部長たちも丁寧な答弁を返し、予定時間を3分以上もオーバーする白熱した議論となり、参加した学生たちも満足した表情で議場を後にしていた。

新副議長就任あいさつ



第77代
鳥取県議会副議長
前田八壽彦

鳥取県は、今後、人口減少や少子高齢化が一層進展することが予想されています。また、長引く不況により県外企業の撤退、

県内企業の経営難、雇用情勢の悪化等と経済事情は深刻です。このような状況の中、県政の果たす役割は重要となっています。鳥取県議会は平井知事と協力して福祉の向上、若者の定住促進を図るための企業誘致、中小企業の支援、農林水産業や建設業の振興等の県政の課題解決に取り組んでいきます。このために、県議会議員各位の知恵と行動力を結集して県民の期待に応えたいと思っています。

県内企業の経営難、雇用情勢の悪化等と経済事情は深刻です。このような状況の中、県政の果たす役割は重要となっています。鳥取県議会は平井知事と協力して福祉の向上、若者の定住促進を図るための企業誘致、中小企業の支援、農林水産業や建設業の振興等の県政の課題解決に取り組んでいきます。このために、県議会議員各位の知恵と行動力を結集して県民の期待に応えたいと思っています。

県議会各種委員会の顔ぶれ

(委員長 副委員長または主査)

【常任委員会】

総務教育常任委員会					福祉生活病院常任委員会				
横山 隆義	広谷 直樹	森 雅幹	長谷川 稔	谷村 悠介	伊藤 保	福田 俊史	坂野経三郎	錦織 陽子	濱辺 義孝
伊藤美都夫	藤縄 直樹	安田 優子	野田 修		森岡 俊夫	山口 享	稲田 寿久	鉄永 幸紀	
農林水産商工常任委員会					地域振興県土警察常任委員会				
興治 英夫	内田 隆嗣	砂場 隆浩	市谷 知子	浜崎 晋一	内田 博長	澤 紀男	国岡 智志	福間 裕隆	浜田 妙子
前田八壽彦	小谷 茂	銀杏 泰利			藤井 省三	上村 忠史	齊木 正一		

【特別委員会】

人口減少社会調査特別委員会					高速交通網調査特別委員会				
上 村 安田	坂 野 森	国 岡	谷 村		小 谷 内田(隆)	砂 場 福 田	広 谷 長谷川		
濱 辺 伊藤(美)	山 口 藤 井 稲 田				澤 前 田	伊藤(保) 福 間 齊 木			

決算審査特別委員会					福 間 国 岡					(以下各分科会)				
総 務 教 育	上村	坂野	内田(隆)	山口	銀杏	地域振興県土警察	藤縄	福田	長谷川	伊藤(保)	小谷			
福 祉 生 活	稲田	国岡	錦織	福間	藤井	県 営 企 業	森岡	谷村	澤	伊藤(美)	鉄永			
農 林 水 産 商 工	濱辺	森	市谷	広谷	齊木	病 院 事 業	興治	砂場	浜崎	横山	内田(博)			

【議会運営委員会】

齊 木 伊藤(保)	国 岡 浜 崎 興 治
伊藤(美) 稲 田 藤 縄 上 村 内田(博)	

【広報委員会】

砂 場 坂 野 福 田
広 谷 前 田 銀 杏

9月定例会では常任委員会などの所属議員の変更があり、委員の互選で委員長を選出した。

委員長ら新布陣

議運委員長は齊木議員

地域振興県土警察常任委員会では推薦で内田博長議員に決まり、「時代的に厳しいものがあるが皆様の協力で重責を全うしたい」と挨拶した。総務教育、農林水産商工の両常任委員会では委員長選挙を実施。総務教育常任委員会は横山隆義議員、農林水産商工常任委員会は興治英夫議員を選出した。委員長になった横山委員長は「教育は人材育成。次世代の育成に努力したい」、興治委員長は「活発な委員会運営に努め、議会としての明確な方向性を出し、執行部の提案は真剣に議論していきたい」と話した。

議会運営の要である議会運営委員会は野田修委員長が議長に選出されたため、その後任に齊木正一議員を選出。決算審査特別委員会は長谷川稔副委員長が辞任し、後任に国岡智志議員を決めた。

今議会では人口減少社会調査、高速交通網調査の2特別委員会を新たに設置した。人口減少社会調査特別委員長に上村忠史議員、同副委員長に安田優子議員、高速交通網調査特別委員長に小谷茂議員、同副委員長に内田隆嗣議員を選出。広報委員長には砂場隆浩議員を選んだ。